

令和2年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担 当 課 係	商工観光課 企業振興・商工観光担当
---------	-------------------

事務事業名	観光・イベント事業【地方創生推進交付金】		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政 策	③ 未来への活力を育むまちづくり	款	7	商工費	
	基本目標	7. 活気あふれるまちづくり	項	1	商工費	
	施 策	7-2 観光交流によるにぎわい創出	目	4	観光費	
	基本方針	7-2-1 観光の振興	事業	2	観光・イベント振興事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	観光イベント等を行い、観光客を呼び込むことにより、地域の賑わいの創出や観光・交流の場を広げ、地域や観光地等の活性化につなげるとともに、観光案内所運営、観光イベントの実施、ボランティアガイドの育成、マスコットキャラクターを活かした観光PR等により、観光客の多様なニーズに応え、観光客の増加を目指す。	事業の内容	小松島港まつり等の観光イベント主催団体への補助や、小松島観光物産協議会等の関係団体と連携し、小松島市観光ビジョンに沿って観光振興事業を展開する。また、徳島東部地域市町村が有する自然や歴史・文化等、様々な観光資源の発掘・魅力向上を図ることで、圏域での観光エリアを形成し、宿泊、体験型観光、地元素材の特産品化などを引き続き実施し、関連産業の振興を図る。これに加え、DMOを中心として関係市町村と域内で連携し、観光振興の推進を図る。
-------	--	-------	---

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名		単位	実績		目標	目標			
	イベント客数及びむ観光案内所利用数			R1	R2	R3	R4			
指標の説明	小松島港まつり集客人数及び		人	目 標	88,000	--	--			
	JR南小松島駅内観光案内所利用者数			実 績	86,289	2,021				
		R1年度決算		R2年度決算		R3年度予算		市民一人あたりのコスト		
関連事業費	財源内訳	事業費		35,467,337	15,738,629	22,723,000		R1	938	
		国県支出金		8,285,541	6,760,000	6,019,000		R2	423	
		地方債						各年度4月1日現在の人口		
		利用者負担・その他			1,200,000			R1	37,795	
		一般財源		27,181,796	7,778,629	16,704,000		R2	37,243	

■評価（CHECK）

事業の方向性		拡 充	縮小して継続	判定理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により各種イベントなどが中止となり、事業自体は縮小されたが、アフターコロナを見据え、県内外から観光客の入込みを図るため、感染状況を見極めながら、引き続き事業を推進していく。また、DMOを中心として、域内の市町村が連携してPRをすることにより、より効果的に本市の観光振興を図っていく。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
	○	現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	イベントの開催については、運営費の確保やイベント内容の充実が課題となる。本市を訪れる観光客は通過型観光が多いため、「小松島市観光ビジョン」に基づき、新たな特産品のPRやハモ等小松島の食材を扱ってくれるレストランを増やしたり、体験型観光を強化するなどして、市内に新たにできたホテルとも連携しながら情報発信を強化しなければならない。観光コンテンツを広く周知するためには、県内外への情報発信が不可欠であることから、市内のホテル事業者等と連携しながら、DMOや東部地域市町村との連携事業を継続していく。
今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大で大規模なイベントの開催が困難ななか、感染症対策を実施しながらイベントを開催していく必要がある。アフターコロナを見据え、小松島市観光物産協議会を中心に特産品や体験型観光等のPRや情報発信を進めていく。そのうえで、各関係団体とも連携をしながら観光資源の再創出を図る必要がある。また、徳島東部定住自立圏構想による事業の再開に備え、観光振興事業として他市町村と連携し、より効果的に事業推進ができることが期待される。